

沼工ニュース

土木科3年生、“かまどベンチ”を自治会に寄贈!!

沼工広報部発行
第6号

「かまどベンチ」とは独自の発想に基づく便利な防災用品で、普段はもちろんベンチとして利用に供されますが、災害時には45Lサイズのなべを2つ並べて煮炊きができる機能をも発揮します。

この「かまどベンチ」のサイズは、幅150センチ、奥行き50センチ、高さ39センチで、座面を支える2本の脚は重さ50キロの堅固なコンクリート製です。

六角レンチ一本で座面を取り外すと、金属製の炉と蒔き置き台が姿を現し、ベンチは即座にかまどに変身、煮炊きに威力を発揮するというものです。

このベンチは、土木科の3年生の6人が「課題研究」という授業の中で、いわば3年間学んできた「ものづくり」の集大成として4月から熱心に取り組んできたものです。

その6人の生徒が石井達也君(函南中出身)、小野瑛利可さん(沼津第五中出身)、松本泰河君(金岡中出身)、桑田佳樹君(富士岡中出身)、杉山幸輝君(裾野東中出身)、芹澤結衣さん(函南東中出身)でありました。



この「かまどベンチ」は第三地区我入道連合自治会に寄贈させて頂きました。



その製作風景です。



座面を取り外すと、このように煮炊き用かまどに変身!



「かまどベンチ」製作に打ち込んだ土木科の精鋭?たち

